

うだいじんたちはなげ うたげ うた  
右大臣橘家の宴の歌七首

一五七四番

雲くもの上うへに 鳴なくなる雁かりの 遠とほけども 君きみに逢あはむ  
と たもとほり来きつ

一五七五番

雲くもの上うへに 鳴なきつる雁かりの 寒さむきなへ 萩はぎの下した葉はは  
もみちぬるかも

一五七六番

この岡をかに 雄鹿踏をしかふみ起おこし うかねらひ かもか  
もすらく 君故きみゆゑにこそ